

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 5月28日更新

事務事業名		保育所整備助成事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜	
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智	
	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2316	
予算科目		会計一般	款3	項2	目3	事業連番11449	法令根拠	安心子ども基金管理運営要領		
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
									成果優先度評価結果	: ⑧
									コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・待機児童対策の一環として、新設または定員増を行う認可保育所に係る施設整備について、安心子ども基金を活用して補助する。(①ひかりの丘保育園の増築、②こうしおんがく保育園の新設、③このみ坂保育園の新設) ・国の経済対策事業である安心子ども基金の活用について事業実施期限の延長が行われ、平成23年度中に施設着手し、平成24年度に完成が見込まれる場合は平成25年3月31日まで延長されることとなったため、平成23年度においても本事業を活用し待機児童の解消に努める。 ・現在、市では出生や転入による児童数が増加しているが、それに加え不況による母親の就労ニーズから保育所の入所希望が増えていると考えられる。この状況はここ数年は続くと考えられるが、その後の少子化を考えると既存園での定員増が適していると考えられる。 ・国は待機児童ゼロを目指しており、待機児童が50名を超える市町村は、国の指導のもと保育計画を策定する必要があるため、平成22年度策定した。
【業務の流れ】	①保育所整備事業計画の受付 ②県補助金交付協議申請 ③県補助金交付申請 ④交付決定起案 ⑤交付決定通知 ⑥負担行為 ⑦県へ概算払い請求 ⑧調定 ⑨竣工検査 ⑩実績報告書・請求書受付、審査 ⑪支出命令 ⑫県補助金実績報告 ⑬県補助金清算
【主な予算費目】	安心子ども基金管理運営要領に基づく算定基準に準ずる。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	待機している児童の保護者や新たに入所申請を行う保護者からは、保育所の新設または定員増を図るよう要望がある。議会からも市の責任のもと早急な待機児童対策が要望されている。園長会からは、定員増へのできる限りの協力をすると申し入れがなされている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
待機児童対策の一環として、安心子ども基金を活用し、ひかりの丘保育園の増築、こうしおんがく保育園の新設、このみ坂保育園の新設を行ない定員210名の増員を図った。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア:市内認可保育所	園
イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
定員増を行う認可保育所	(単位) 園
	ア:施設整備を希望する保育所数
	イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
保育所を定員増できるよう整備できる。	(単位) 園
	ア:施設整備できた保育所数
	イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア 園		0	16	16	16				
	イ									
②対象指標	ア 園		0	5	3	3				
	イ									
③成果指標	ア 園		0	5	3	3				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円		184,311	235,065	226,869			
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円		20,924	45,924	44,895			
		(A)のうち指定経費	千円	0	205,235	280,989	271,764			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	96	42	38			
	人件費	正規職員従事人数	人	0	3	3	3			
		延べ業務時間	時間	0	730	730	340			
(B)人件費計		千円	0	3,007	3,007	1,372				
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	208,242	283,996	273,136				

事務事業名	保育所整備助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 各法人は確実に施設整備を着手しているため目標は達成する。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 待機児童解消に向けて、保育計画に基づき、保育所等の協力を得ながら最大限の施設整備を行っている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 既存保育所の施設増築による定員増はある一定の成果を得たため、あまり望めない。新たな施設整備にわり、空き家や空き施設などを活用した家庭的保育事業などの対策の検討をする必要がある。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市町村は、児童の保育に欠けるところがある場合において、保護者から申込みがあつたときは、それらの児童を保育所において保育しなければならない。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

待機児童対策の一環として、安心子ども基金を活用し、ひかりの丘保育園の増築、こうしおんがく保育園の新設、このみ坂保育園の新設を行ない定員210名の増員を図った。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							